



ONTAP tools for VMware vSphere メンテナンスコンソールへのアクセス ONTAP tools for VMware vSphere 105

NetApp
July 24, 2026

目次

ONTAP tools for VMware vSphere メンテナンスコンソールへのアクセス.....	1
ONTAP toolsのメンテナンスコンソールについて学ぶ	1
ONTAP toolsのリモート診断アクセスを設定する.....	2
他のONTAP toolsノードでSSHを起動します	3
ONTAP toolsでvCenter Serverのクレデンシャルを更新.....	3
ONTAP toolsで証明書検証フラグを変更する	3
ストレージバックエンドの SAN ベースの証明書を検証する	4

ONTAP tools for VMware vSphere メンテナンスコンソールへのアクセス

ONTAP toolsのメンテナンスコンソールについて学ぶ

ONTAP tools for VMware vSphere のメンテナンスコンソールを使用すると、アプリケーション、システム、ネットワークの設定を管理できます。管理者パスワードとメンテナンスパスワードの更新、サポートバンドルの生成、ログレベルの設定、TLS設定の管理、リモート診断の有効化を行うことができます。

ONTAP tools for VMware vSphere を導入後、メンテナンスコンソールにアクセスできない場合は、vCenter Server から VMware Tools をインストールしてください。`maint`ユーザー名とデプロイ時に設定したパスワードを使用してログインします。メンテナンスコンソールまたは root ログインコンソールでファイルを編集するには、**nano** を使用してください。



リモート診断を有効にする際は、`diag`ユーザーのパスワードを設定する必要があります。

メンテナンスコンソールにアクセスするには、デプロイした ONTAP tools for VMware vSphere の「概要」タブを使用してください。 を選択すると、メンテナンスコンソールが起動します。

コンソールメニュー	オプション
Application Configuration	1. Display server status summary 2. ONTAP tools サービスのログレベルを変更する 3. 証明書検証フラグを変更する
System Configuration	1. Reboot virtual machine 2. Shutdown virtual machine 3. 「maint」ユーザのパスワードの変更 4. タイムゾーンの変更 5. jailディスク サイズの拡張 (/jail) 6. Upgrade 7. VMware Toolsのインストール

Network Configuration	1. Display IP address settings 2. Display domain name search settings 3. ドメイン名検索設定の変更 4. Display static routes 5. 静的ルートの変更 6. Commit changes 7. Ping a host 8. Restore default settings
Support and Diagnostics	1. 診断シェルへのアクセス 2. リモート診断アクセスの有効化 3. バックアップ用の vCenter 認証情報を入力してください 4. バックアップを取得する

ONTAP toolsのリモート診断アクセスを設定する

ONTAP tools for VMware vSphere を設定して、diagユーザーのSSHアクセスを有効にすることができます。

開始する前に

vCenter Server インスタンスの VASA プロバイダー拡張機能を有効にします。

タスク概要

SSHを使用してdiagユーザ アカウントにアクセスする際は次の制限があります。

- SSHの有効化ごとに、ログインアカウントは1つしか許可されていません。
- diagユーザ アカウントへのSSHアクセスは、次のいずれかの状況になると無効になります。
 - タイムアウトした場合。

ログインセッションは翌日の午前0時に期限切れとなります。

- SSHを使用してdiagユーザとして再度ログインした場合。

手順

1. vCenter Serverで、VASA Providerへのコンソールを開きます。
2. メンテナンス ユーザとしてログインします。
3. `4`を入力して、「サポートと診断」を選択してください。
4. Enter `2`を押して「リモート診断アクセスを有効にする」を選択します。
5. `y`を確認ダイアログボックスに入力して、リモート診断アクセスを有効にします。

6. リモート診断アクセス用のパスワードを入力します。

他のONTAP toolsノードでSSHを起動します

アップグレードする前に、他のノードでSSHを起動する必要があります。

開始する前に

vCenter Server インスタンスの VASA プロバイダー拡張機能を有効にします。

タスク概要

アップグレードを行う前に、各ノードでこの手順を繰り返してください。

手順

1. vCenter Serverで、VASA Providerへのコンソールを開きます。
2. メンテナンス ユーザとしてログインします。
3. `4`を押して「サポートと診断」を選択してください。
4. `1`を入力して「診断シェルにアクセス」を選択します。
5. 入力 `y`して続行します。
6. コマンド `sudo systemctl restart ssh` を実行してください。

ONTAP toolsでvCenter Serverのクレデンシャルを更新

メンテナンスコンソールを使用して、vCenter Server インスタンスの認証情報を更新できます。

開始する前に

メンテナンスユーザーのログイン認証情報が必要です。

タスク概要

デプロイ後に vCenter Server の認証情報を変更した場合は、この手順を使用して更新してください。

手順

1. vCenter Serverで、VASA Providerへのコンソールを開きます。
2. メンテナンス ユーザとしてログインします。
3. `2`を入力してシステム設定メニューを選択します。
4. `8`を入力して、vCenterの資格情報を変更します。

ONTAP toolsで証明書検証フラグを変更する

デフォルトでは、証明書検証フラグは有効（true に設定）になっています。SAN 証明書のチェックをバイパスする必要がある場合は、ONTAP ストレージバックエンドの証明書検証フラグを false に設定できます。この設定は vCenter サーバー証明書には適用され

ません。

開始する前に

メンテナンスユーザーのログイン認証情報が必要です。

手順

1. vCenter Server から、ONTAP tools へのコンソールを開きます。
2. メンテナンス ユーザとしてログインします。
3. `1`を入力して、「アプリケーション設定」メニューを選択します。
4. 証明書の検証フラグを変更するには、`3`を入力してください。

メンテナンスコンソールには証明書検証フラグの状態が表示され、変更を促されます。

5. フラグを切り替えるには「y」を、キャンセルするには「n」を入力してください。

証明書検証フラグを有効にする（trueに設定する）と、ONTAP toolsは、すべてのストレージバックエンドがサブジェクト代替名（SAN）付きの証明書を使用していることを確認します。バックエンドでSANのない証明書を使用している場合、証明書の検証を有効にすることはできません。このフラグを有効にする前に、すべてのストレージバックエンドがSANベースの証明書を使用していることを確認してください。証明書検証フラグを無効にする（falseに設定する）と、ONTAP toolsは、設定されているすべてのストレージバックエンドの証明書検証をバイパスします。

ストレージバックエンドの **SAN** ベースの証明書を検証する

安全な通信と適切な検証を確保するには、すべてのストレージ バックエンドが SAN ベースの証明書を使用していることを確認します：

1. ONTAP管理証明書にサブジェクト代替名（SAN）エントリが含まれていることを確認してください。
2. SAN エントリが ONTAP 管理 IP アドレスまたは DNS 名、あるいはその両方と一致することを確認してください。
3. ONTAPのオンボーディングに使用する詳細情報が、証明書のSANエントリ内のIPアドレスまたはDNS名と一致することを確認してください。

これらの手順に従うことで、証明書の検証に関する問題を防ぎ、ONTAPシステムが安全に統合されることを保証します。

次のサンプル証明書は、デコードされた情報を示しています：

```
HG8u6GK r2JJonWe/kjoKTUnkjwtW7feDI747RUuFrthcvTDqhBNWL76jihNp1VX7
v0SDWMAVdecTeU1X/1X3qMxiL+tU4p9SbKVpQw6hjM/zi0LNC784EYIOSQ7qVob
6f21mfP0JHbqs5fLim9NFFUu2DQIDAQA8oQw0jBABgNVHREEOT43hwShsSHdKXsgi9z
dGkyMjAtdnNpbS1zcjA1MWUtY2OuY2Rs LmdkbC5lbmdsYWJuZKThcPHauY29nt
BgkqhkiG9wQBAQsFAAOCCAQAEEagptz11RN7PLuJUo-SSQExBsF5/3JHr0+sSIMZDzm
4P24kbxQZbfryy68itKGF4LeAid0hgyxc3y9iv4zKlx8SfLNgiTnVqAe8'KYNoyD6
IEwppDUE0eVNIZQjrz9QjUAAF9ifjq8+SKr'lphoXnYYUiM6utvobPMG8cR8Gca
jiLibiMM01K6rD7Ng+7+ydUCAwBQwMDDwdn8+7RIRdKgwx9QDLegcC5IL5WFLwbMc
2GBv8VM839m0KUAKXSDGwJBZ5nSHQdNi7MU3AES7Nzkv63kGEQJT/5Wr1DmOwlf
osl4qeeeMRigrAbFL6EHMsOMSP0521rtTrJrjBooB22r0tyDA--
-----END CERTIFICATE-----
```

Certificate Information:

- ✓ Common Name: **test.xyz.com**
- ✓ Subject Alternative Names: IP Address: **xxx.xx.xxx.xxx**, **test.xyz.com**
- ✓ Organization: Self-signed-certificate
- ✓ Organization Unit:
- ✓ Locality: N/A
- ✓ State: N/A
- ✓ Country: XX
- ✓ Valid From: March 8, 2026
- ✓ Valid To: March 7, 2028
- ✓ Issuer: **test.xyz.com**, Self-signed-certificate
- ✓ Serial Number: 640c2752bd2c972c5775180070cfdd2120809ee

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。